

腸管出血性大腸菌 O157 による患者発生について（第 3 報）

- 1 市内医療機関において、平成 29 年 7 月 29 日（土）に、入院患者 2 名、30 日（日）に入院患者 4 名について腸管出血性大腸菌感染症の届出があった件で、本日新たに 1 名の届出があり、計 7 名となりました。
- 2 また、新たに血便の症状を呈する入院患者 3 名（80 歳代から 90 歳代男女）が判明し、有症者は 12 名となりました。
- 3 札幌市保健所では、医療機関への感染防止対策の強化を指示しており、また、原因究明のため、引き続き調査を行っています。
- 4 なお、当該医療機関では、施設の消毒の強化、デイケアの中止、給食施設の使用自粛等に着手しています。